



新年のごあいさつ

生活協同組合コープながの
理事長 太田 栄一



謹んで新年のお喜びを 申し上げます

年頭にあたり、組合員のみなさま並びにご家族のみなさまのご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

毎年のように各地で自然災害が発生しておりますが、昨年豪雨や台風など多くの自然災害が猛威を振るった一年でした。特に、台風19号では、長野県をはじめ関東・東北などの各地では甚大な被害を被りました。被害に遭われたみなさまにお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

組合員のみなさまには、こうした災害に際し支援募金等を通じて多大なるご協力をいただきました。心より感謝を申し上げます。この台風では、ボランティアや

ボランティアセンターの運営に、全国の生協から駆けつけていただきました。また、コープながの本部及び篠ノ井センターも冠水の被害を受けましたが、各地の生協や取引先のみなさまにご支援をいただき、事業を継続することができました。ご支援をいただきまして御礼申し上げます。

コープながのは、これまでも県内や東日本大震災の被災地を含め各地の被災地支援に取り組んできました。今後も、全国の生協や行政・支援団体とともに支援を続けていきます。引き続き、ご協力をお願いいたします。

2019年は、組合員のみなさまの利用や参加に支えられ、様々な活動が広がり、事業施設の更新や新たな事業分野の展開など、さらに一歩前進することがで

きました。「コープ安曇野豊科店」を、より楽しくご利用いただくために改装し、老朽化した「上田センター」は移転し新設いたしました。加えて、手狭になった「諏訪センター」の移転新築工事もすすめており6月頃には完成する予定です。また、新たな事業として、再生可能エネルギーを活用した組合員向け電気小売事業「コープデリでんき」を昨年の10月よりスタートしました。コープの施設への太陽光発電設備の設置など、さらに再生可能エネルギーの創出・利用をすすめて参ります。

近年に見る自国中心主義の台頭は、国際社会が長年かけて築いてきた世界秩序を根底から崩そうとしています。絶えない紛争、飢餓や貧困、格差は広がり、地球規模の気候変動・環境破壊は深刻さを増すばかりです。こうした問題を

解決するために、国連が定めた「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成は、更にその重要性を増しています。

2020年は、ビジョン2025の実現に向けた第三期中期計画のスタートの年となります。第二期中期計画では、「選ばれる事業と多様な参加を広げ」多くの成果と貴重な教訓を得ることができました。そうした成果や教訓を財産として、「誰からも頼られる生協」を目指し、引き続き「コープのファンづくり」と「SDGs」の推進に取り組んで参ります。本年も、みなさまの変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2020年 元旦

